



ひとまちふくおか

HITO MACHI FUKUOKA



朝倉市新庁舎

注目建築

「朝倉市新庁舎」市民と未来をつなぐ、防災・交流の拠点。

「朝倉市復興物語」あの日から、今日へ。

2026年度新入社員研修開催 建設業人生、はじまりの2日間

誇り高き獅子達 ▶ 熊川工業株式会社／株式会社大藪組

協会NEWS ▶ 2026年度 定時総会開催／福岡支部：上村建設株式会社「建設業未来展望フォーラム」開催報告

スクールウォッチ ▶ 福岡県立田川科学技術高等学校 工業システム科 建築・土木コース



市民と未来をつなぐ、 防災・交流の拠点。 朝倉市新庁舎



北東側から見た庁舎

令和8年1月5日、朝倉市役所新庁舎が開庁した。合併以降、本庁方式分散型を採用してきた朝倉市では、庁舎の老朽化や耐震性能、行政運営上の課題などを踏まえ、「あさくらを潤いのある『未来』へ、やさしく・つよく・つなぐ交流拠点」を基本理念に新庁舎を整備。市民利用の多い窓口を1・2階に集約し、災害時には防災拠点として機能する。行政サービス、防災機能、環境性能を高いレベルで備えた、これからの朝倉を支える新たな拠点となっている。

ーコンセプトー

あさくらを潤いのある「未来」へ、 やさしく・つよく・つなぐ交流拠点

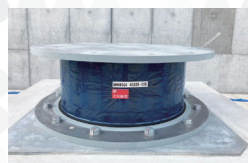
基本方針 1 ヒト・まち・自然にやさしい庁舎

- 敷地東側には歩行者用スロープを設置し、車用と歩行者用の入口を分けることで、安全な歩行者エリアを設けている。
- また、垂直移動を考慮し、エレベーター2台を機能的に配置。誰もが利用しやすい庁舎としている。



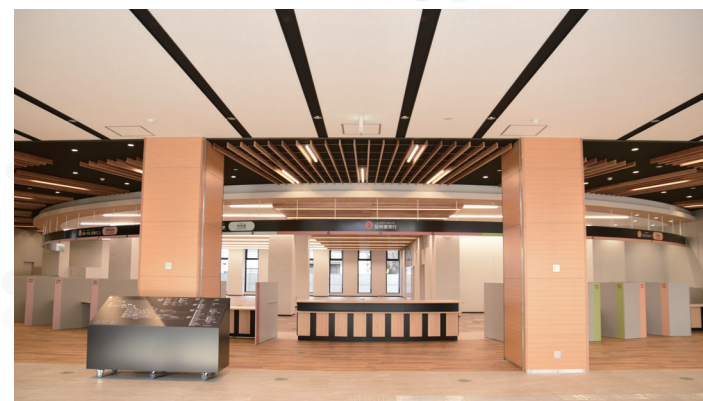
基本方針 2 災害・セキュリティ・変化につよい庁舎

- 鉄筋コンクリート造による剛性と耐久性の高い構造とし、基礎免震構造を採用。防災拠点施設としての機能を維持する。
- 執務エリアは、奥行きのあるワンルーム空間とし、将来の変化にも柔軟に対応できる構成としている。



基本方針 3 市民と行政・人と人・人と自然をつなぐ庁舎

- 新庁舎、甘木歴史資料館、ピーポート甘木をつなぐ歩行者用連絡通路を設置している。
- エントランスには、幅広い活用ができる多目的スペースを併設。通常時は待合ラウンジとして利用できる。
- 太陽光を活用した自然採光や太陽光発電、季節風を生かした自然通風など、市の自然を積極的に活用している。



エントランスホール／1階

来庁者を迎える開放的な空間に、総合案内や待合機能を配置。市民利用の多い窓口へ分かりやすくつながる、庁舎の玄関口である。



防災対策本部／4階

過去の災害の教訓から、国や福岡県が設置している河川監視カメラの映像、水位情報、気象情報等をリアルタイムで確認できるようにしている。会議室の壁面2面はホワイトボードとなっており、災害時の情報共有に活用される。



多目的ホール／1階

通常時は待合ラウンジとして利用できる、開放的な多目的スペース。災害時や期日前投票など、さまざまな用途に対応する。



議場／5階

バリアフリーに配慮された、イギリス式の議場。左右が向き合う配置になっている。



総合受付・サイン

朝倉市のシンボルである三連水車をモチーフに、円を基調としたデザインを採用。館内サインや総合受付にも統一感を持たせ、朝倉らしさを表現している。



雨水貯留槽

雨水対策として、庁舎敷地内に約70㎡、交差点南側駐車場地下に約340㎡、その他の駐車場用地に約187㎡、計597㎡を整備。雨水を一時的に貯めて少しずつ排出し、下流域への負担を軽減する。貯留部分の深さは53cmである。



リフレッシュスペース／3階

本庁舎は地上6階の高層部と、低層部を組み合わせた構成になっており、その低層棟の屋上に緑を感じられるリフレッシュスペースを設け、市民や職員がひと息つける空間になっている。山のふもとには以前の旧朝倉市役所が見える。



環境にやさしいZEB庁舎

外断熱、自然採光、太陽光発電、自然通風などを取り入れ、年間の一次エネルギー消費量を従来建物より50%以上削減する「ZEB Ready」を取得している。



展望スペース／5階

庁舎南側に広がる市街地を一望できる空間。朝倉のまちを見渡し、市民に開かれた庁舎を象徴する場所である。屋上からは360度朝倉市内を望め、小学生の見学などに限り開放している。

建築DATA

- 所在地／福岡県朝倉市甘木232番地1
- 建物用途／朝倉市役所庁舎
- 建築面積／2,578.44㎡
- 延床面積／9,125.35㎡
- 階数／地上6階建て
- 最高高さ／25.75m
- 構造／鉄筋コンクリート造(基礎免震構造)
- 駐車場／80台(うち、まごころ駐車場5台)／第一駐車場278台／第二駐車場51台
- 開庁／令和8年1月5日

あの日から、今日へ。

土砂と流木に覆われたまちを、もう一度つなぐために。
歩み続ける、朝倉

平成29年7月5日から6日にかけて発生した九州北部豪雨は、朝倉市に甚大な被害をもたらした。
山腹崩壊や土石流により、大量の土砂と流木が河川を下り、住宅、道路、橋梁、農地など、暮らしの基盤を大きく傷つけた。
発災直後から、行政、消防、自衛隊、警察、国・県の関係機関、地域の建設業者などが現場に入り、救助、道路啓開、土砂・流木の撤去、応急復旧、本格復旧へと歩みを進めてきた。
災害から9年。
復興は、今も続いている。

平成29年7月5日から6日にかけて降った雨は、朝倉市北小路で、12時間雨量792mmを記録し、これまでの日本の観測史上最多である12時間雨量707mmを更新した豪雨となった。



※平成29年7月九州北部豪雨 朝倉市の災害の詳細内容はコチラから確認できます。



朝倉市

福岡市

平成29年7月5日、九州北部で発生した積乱雲。
福岡市東区名島付近から朝倉市方面を望む。

朝倉市の
主な被害

- 死者／33人
- 重傷者／11人
- 公共土木施設／345か所(約137億円)
- 農地・農業用施設等／1,216か所(約257.7億円)
- 行方不明者／2人
- 住家等建物被害／1,471件

復興ヒストリー

平成29年
(2017年)
7月5日

九州北部豪雨が発生

記録的な豪雨により、山腹崩壊や土石流が発生。大量の土砂と流木が河川を下り、住宅、道路、橋梁、農地などに甚大な被害をもたらした。

発災直後

命を守る初動対応

朝倉市災害対策本部をはじめ、消防、自衛隊、警察などによる救助・捜索活動が始まった。道路の寸断や通信の混乱がある中、孤立した地域への救助や支援が続けられた。

応急復旧

道を開き、川の流れを確保する

土砂や流木の撤去、道路啓開、大型土のうによる応急復旧が進められた。道路を確保することは、救助や物資輸送を支えるだけでなく、その後の本格復旧へつなぐ第一歩でもあった。

本格復旧

暮らしの基盤を取り戻す

河川、道路、橋梁、農地などの復旧工事が進められ、地域の暮らしを支える基盤が少しずつ取り戻されていった。

現在

復興を、次の備えへ

復旧した道路や河川、農地には日常の風景が戻りつつある。災害の記憶と教訓を未来へつなぐ歩みは、今も続いている。

2日間で被災したまちを、数年かけて復興してきた。

被災直後、応急復旧、そして現在。同じ場所の変化をたどると、復旧の歩みが見えてくる。



住宅・暮らしの被害
住宅や生活空間にも、土砂や流木が流れ込んだ。



河川・流域の被害
河川流域では、土砂と流木が広範囲に流下した。



道路・橋梁の被害
道路や橋梁にも被害が及び、地域の移動が妨げられた。

建設業が支えた復旧

発災直後、道路や河川は土砂と流木に覆われ、現場へ入る道を確保することが急務であった。

地域の建設業者は、重機を投入し、流木撤去や道路啓開などの復旧作業にあたった。

道を開くことは、救助を支え、物資を届け、次の復旧工事へつなぐことである。

建設業は、災害の現場で、暮らしの基盤を支える役割を担っているのだ。



赤谷川流域

H29.7

R4.3

川の流れと地域の安全を取り戻す整備が進められた。

乙石川流域

H29.7

R4.5

被災後、河道整備とともに農地の改良復旧が行われた。

赤谷川・乙石川
合流点

H29.7

R4.4

橋と道の復旧が、地域の暮らしを再びつないだ。

写真提供: 朝倉市

写真提供: 因建設株式会社

朝倉市の教訓を次の備えへ

―被災した朝倉市役所職員から伝えたいこと―

「災害時には、行政からの情報を待つだけでは命を守れない場面があります。危険を感じたら、早めに判断し、早めに行動することが大切です。
自分の命を守れるのは、まず自分です。その意識を、日頃から持ってほしいです」当時477名の職員は、自らが被災した職員もいる中、全力で市民の安否確認や災害対応、復旧・復興に臨んだ。

自分の命を守る5つの行動

- 1 自宅の危険を知る
(ハザードマップをチェック)
- 2 避難先と避難経路を
家族で話し合っておく
- 3 警戒レベル4までに
必ず避難
- 2 避難方法を知っておく
●水平避難(基本)
●垂直避難(上へ)
●緊急安全確保(まず命を守る)
- 5 防災気象情報を確認する

「気象×水害×土砂災害マルチモニタ」
<https://www.river.go.jp/portal/>



キキクル

知っていますか？ 令和8年5月29日より 新しい防災気象情報が始まりました！

令和8年5月から、防災気象情報の伝え方が新しくなりました。
警戒レベルと情報がより分かりやすく整理され、「今、どのくらい危険なのか」が直感的に判断できるよう改善されています。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1相当	早期注意情報			

POINT 警戒・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

POINT 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わりました(特別警報の新設など)

POINT 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

建設業人生、はじまりの2日間

43名の新入社員が 踏み出した第一歩

県内の会員企業から集まった43名の新入社員が、前半・後半の2班に分かれ、それぞれ2日間の研修に参加しました。社会人としての心構えやビジネスマナーを学び、施工ゲームやグループワークを通して、計画すること、仲間と協力すること、相手に正しく伝えることの大切さを体験。他社の新入社員と意見を交わしながら学んだ2日間は、社会人として、建設業人として歩み始めるための第一歩となりました。



研修ダイジェスト 2日間の学びと成長

DAY 1 社会人としての基本を身につける

社会人としての心構えをはじめ、挨拶や言葉遣い、ビジネスマナー、時間管理、報告・連絡・相談など、職場で信頼を築くための基本を学びました。研修を通して、自分の行動に責任を持つことや、相手の立場を考えて行動することの大切さを確認しました。



社会人として求められる基本を学び、
建設業人としての一歩を踏み出す。

研修前と研修後で変わったこと

研修前には、「不安だった」「緊張していた」という声も見られました。研修後には、「社会人としての自覚が生まれた」「仕事に生かしたいことが増えた」「仲間と交流できて前向きになれた」といった言葉が寄せられています。

最初は不安もありましたが、仲間と出会い、少し気持ちが前向きになりました。



施工ゲームを通して、建設の仕事の難しさと面白さを実感しました。



グループワークで、自分だけでは気づけない考え方や視点を得ました。



社会人としての自覚が生まれ、責任を持って行動したいと思いました。



講師：齊藤 昭彦氏
株式会社 日本コンサルタントグループ

研修を通して感じたこと

- 一人ではできない。周囲と協力し、支え合うことが大切。
- 失敗を恐れず、振り返りと改善を重ねる。
- 相手に伝わるように話し、報告・連絡・相談を徹底する。
- 他の人の意見を聞き、違う考え方を受け入れる。
- 時間を意識し、計画的に行動する。
- 建設業は、多くの人と力を合わせて形にしていける仕事である。

43名の声から見た5つの学び

1 建設業は、チームで進める仕事だった

一人でできることには限界があります。施工ゲームやグループワークを通して、仲間と役割を分担し、互いに助け合うことで仕事が前へ進むことを学びました。



- 自分一人では進められず、周囲との連携が大切だと感じた。
- 仲間と力を合わせることで、大きな成果につながった。
- グループで協力して行動することの重要性を学んだ。

2 現場に、正解はひとつではない

同じ課題に取り組んでも、班によって考え方や進め方は異なります。他の人の意見に耳を傾け、自分にはなかった視点を取り入れることが、よりよい結果につながる気づきがありました。



- 班ごとに進め方が違い、それぞれに工夫があつて面白かった。
- 自分にはなかった考え方や視点を知ることができた。
- いろいろな方法があるからこそ、工夫することが大切だと感じた。

3 伝えたつもりでは、伝わらない

指示の出し方や伝える順序によって、相手の動きや結果は変わります。相手に分かるように伝えること、そして報告・連絡・相談を徹底することが、仕事を円滑に進めるための基本です。



- 指示の出し方によって、結果が大きく変わった。
- 伝えることの難しさを施工ゲームで実感した。
- 報告・連絡・相談を、これからの仕事で意識したい。

4 うまくいかない経験も、次につながる学びになる

計画どおりに進まなかったとき、原因を考え、方法を見直し、もう一度挑戦する。研修だからこそ経験できた試行錯誤が、改善することや挑戦を続けることの大切さを教えてくれました。



- 失敗しても、改善することで次につながれると分かった。
- 安全や品質を考えながら進める難しさを学んだ。
- うまくいなくても、挑戦することが大切だと感じた。

◀施工ゲームで優勝したチーム

5 会社を越えて、ともに学ぶ仲間ができた

参加者は所属する会社の枠を越え、同じ建設業界で働き始めた仲間として交流しました。初対面の人と意見を交わし、協力して課題に取り組んだ経験は、これから仕事を続けていくうえでの大きな支えになります。



- 他社の新入社員との交流が、とても刺激になった。
- 同じ立場の仲間と学ぶことができ、安心感につながった。
- これからも、このつながりを大切にしていきたい。

研修で得た学びをカに、未来の建設業を支える存在へ。

2日間で得た気づきや、会社を越えて生まれた仲間とのつながりは、これからの仕事を支える力になります。それぞれの職場で経験を重ね、地域の未来をつくっていく43名の成長が期待されます。

誇り高き獅子たち



現場の数だけ新しい知識が増え、
自分の成長を実感できる。

熊川工業株式会社

工事部 藤井 光時さん／(23歳)入社4年目

建設業に入ったきっかけは？

もともと父が建設業に携わっており、その姿を幼少期から見ていたので、自然とこの業界に興味を持ちました。最終的にこの業界で働こうと決意したきっかけになったのは、高校時代の仮学期間から専門学校入学までの期間に、父と一緒に約2か月ほど仕事をしたことです。日々、現場が変化していく中で、始めは見えていなかった完成形の形が徐々に見えてきた時に面白さを感じ、建設業の仕事に就こうと決めました。

現在の仕事内容は？

現場監督として施工管理を行っています。現在は現場作業に携わりながら、工程管理や原価管理についても勉強中です。職人さんや協力会社の方々と連携し、一般道路をはじめ、空港の滑走路や都市高速道路など、さまざまな工事を手がけています。同じ現場は二つとないため、現場ごとに新しい知識を吸収できるのがこの仕事の魅力です。難しいと思うこともありますが、それ以上に学ぶことが多く、自分自身の成長を日々実感できる充実した環境です。

入社前後で変化したことはありますか？

入社する前は、現場監督の仕事は、現場での指示とそれまでの準備が仕事というイメージを持っていましたが、実際に入社してみると、想像していたよりも数倍多い仕事量に驚きました。現場では、職人さんへの指示をはじめ、それ以外にも、高さを落としたり、座標からの位置だし、材料の手配からロスが無いように計算、施工写真の撮影など、私が想像していた仕事量とは比べ物にならないほどの仕事の濃密さがありました。しかし、最初はできなかったことも「聞く」「見る」「考える」を自分なりに行い、少しずつできることが増えていくので喜びを感じます。

今後の目標は？

今後は、現場で経験を積んでいき様々な工事、現場に対応した施工管理を行える技術者になることです。多くの知識を吸収して、資格を取得し、一人で責任ある現場をこなしていけるようにになりたいと思っています。そのために、まずは2級土木施工管理技士の資格取得を目指しています。

建設を学ぶ学生達へのメッセージ

建設業はマイナスなイメージを持たれることも多いですが、自らの力と、様々な方と一つの物を作り、それが地図に残るといふこれ以上ない、やりがいを感じられる業界です。自分が施工した現場を通ると大変だった思い出やこの現場ではできなかったことも今ではできるようになったと感じることもでき、自分の成長を感じることもできます。また、最近では週休二日制や残業時間の短縮など様々な取り組みも行われています。やりがいや達成感を感じられる仕事なので、ぜひ建設業界に入って頂きたいです。

先輩・上司からのエール：代表取締役 熊川大祐さん

藤井君は、お父様が建設業界で働かれていたこともあり、幼少期から建設の仕事が身近にある環境で育ちました。その境遇が私自身の生い立ちとよく似ていることもあり、特に心を配ってきた社員の一人です。入社からの3年間、日々の業務にひたむきに向き合い、今では周囲から一目置かれるほど頼もしく成長してくれました。これからも現場で研鑽を積み、2級・1級の土木施工管理技士の資格を取得して、順調に独り立ちしてくれることを期待しています。彼の仕事に対する真摯な姿勢があれば、将来は会社を背負って立つ逸材になってくれると確信しています。

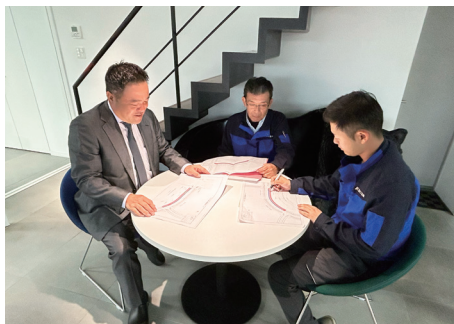
DATA

●熊川工業株式会社 ●福岡市東区水谷3丁目26番20号
●代表取締役／熊川 大祐 ●TEL.092-672-8867

1995年創業。舗装、土木、水道工事の工事で九州・福岡を中心に道路やトンネルの新設、維持補修を事業の核として地域貢献に取り組んでいる。



現場監督は書類を作成すること多い。



打ち合わせ風景。



ガラスで仕切られた開放的で明るいオフィス。



熊川社長(左)と田原専務(右)と一緒に。

社会のために、未来のために。建設業で活躍する若者たち

(一社)福岡県建設業協会に加盟している104社の企業で、
地域の安全・安心のために建設業で活躍する若者を取材しています。

資格も、経験も、自分の力に。
ゼロから始めた土木の仕事。

株式会社大藪組

小川 直人さん／(26歳)入社2年目

保有資格

- 1級土木施工管理技士補
- 宅地建物取引士
- 2級建設業経理士
- 2級ファイナンシャル・プランニング技能士



現場経験と資格取得を重ね、一人前の技術者を目指す小川さん。

建設業に入ったきっかけは？

高校は農業科で、卒業後は飲食業に就きました。その後、施工管理の派遣会社で初めて土木工事の現場を経験し、現在の会社へ転職しました。最初から建設業を目指していたわけではありませんが、現場ごとに仕事の内容が変わり、経験や資格が自分の力として積み上がっていくところに魅力を感じています。専門的に学んだ経験がなくても、現場に入り、分からないことを一つずつ覚えていけば挑戦できる業界だと思います。

現在の仕事内容は？

国道沿いの歩道を広げ、交差点を改良する工事に携わっています。学生などが通る狭い歩道を安全で利用しやすくする工事で、担当区間は約150mです。現場では、施工状況の写真撮影、測量、構造物の位置や高さを示す「丁張」の設置、書類整理などを行っています。道路工事は今回が初めてで、当初は図面の見方や計算にも戸惑いました。先輩に教わりながら繰り返し取り組み、少しずつ理解できることが増えています。

入社前後で変化したことはありますか？

仕事では、確認を何度も行うことを特に意識するようになりました。丁張の位置を誤り、職人さんにやり直していただいた経験から、一つのミスが次の作業に影響することを学んだからです。現在は、自分の判断だけで進めず、数値や図面を繰り返し確認しています。また、苦手だった数字にも向き合うようになりました。できないことを避けるのではなく、「できるようになれば、苦手なものが一つ減る」と考え、積極的に学ぶ姿勢が身につきました。

今後の目標は？

まずは現場経験を積み、1級土木施工管理技士の資格を取得することが目標です。現在は1級土木施工管理技士補の資格を取得しており、必要な実務経験を重ねながら次の試験に備えています。将来は、一つの現場を自分で責任を持って動かせる技術者になりたいです。そのためには、道路に限らず、さまざまな種類の工事を経験し、それぞれの現場で必要となる知識や技術を身につけていきたいと思っています。

建設を学ぶ学生達へのメッセージ

私自身、建設を専門に学んだわけではなく、飲食業などを経験してからこの業界に入りました。最初から「これがしたい」と決まっていなくても、まずはやってみることで、自分に合う仕事が見つかることもあります。建設業は、経験や資格が自分の力として形になり、努力した分を評価してもらいやすい仕事です。休みも以前より取りやすくなっています。進路に迷っている人にも、建設業を選択肢の一つとして、まず挑戦してみてください。

先輩・上司からのエール：主任 徳永光秋さん

まず自分で挑戦する姿勢を、
大きな成長につなげてほしい。

小川君は真面目で、何事にもまず自分から挑戦しようとする姿勢があります。測量機器にも積極的に触れ、分からないところは周囲に尋ねながら、自分の知識にしようと努力しています。建設業の醍醐味は、苦労しながらつくり上げたものが形として残ることです。一つの現場を完成させた時の達成感、自信にもつながります。これからさらに経験を重ね、ものづくりの面白さを知り、自分の力で現場を動かせる技術者へ成長してくれることを期待しています。

DATA

●株式会社大藪組 ●所在地／福岡県筑後市長浜2043番地の1
●代表取締役／小川 海志郎 ●TEL: 0942-53-2151

1890年創業。筑後市に本社を構え、土木・建築工事を中心に地域の社会資本整備を担う総合建設会社。技術力と人材育成を大切に、地域に根ざしたまちづくりを続けている。



トータルステーションを使い、構造物を設置する位置や高さを確認。



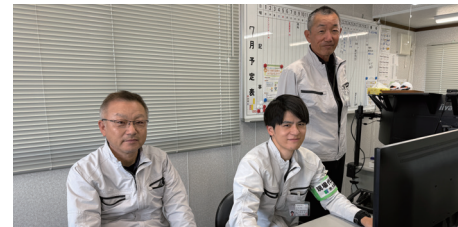
分からないことはそのままにせず、先輩に確認しながら知識を身につける。



狭い歩道の拡幅と交差点改良を行う「芝原地区歩道整備外工事」。



施工状況を写真に記録することも、品質を管理する大切な業務の一つ。



現場を支える先輩たちとともに、一つずつ経験を積み重ねている。
塚本土木副部長(左)・徳永主任(右)

ASSOCIATION NEWS 協会NEWS

2026年度定時総会開催 持続的発展と社会的信頼の向上

建設業界は大きな転換期を迎えています。時間外労働の上限規制への対応、担い手不足、コスト高騰など厳しい状況にありますが、持続的発展には人材の確保・育成が不可欠であり、働きがいのある環境や技術力の適正評価とともに、若い世代に建設業の魅力を発信していくことが重要です。当協会では、工業高校の教員向け現場見学や子ども向けの「建設ジュニアラボ」「土木の日ファミリーフェスタ」などの新たな事業にも取り組んでいます。今後も会員の皆様と連携して課題に取り組み、持続的発展と社会的信頼の向上に努めてまいります。(松山会長スピーチ概要)

～豪雨対策を進めましょう!当協会では、災害対策用ブルーシート、土のうを備えています～

福岡県建設業協会会員企業は、災害発生に対して備品を備えています。
※(一社)福岡県建設業協会と福岡県建設業協同組合、(一社)福岡県木造住宅協会で構成する福岡県建築物災害対策協議会は、福岡県と災害への緊急対応を迅速かつ適正に行うための協定を締結しています。



8月3日「ふくおかなつやすみチャレンジフェスタ2026」

福岡県庁3階の講堂で開催されたこのイベントに、当協会は実行委員会のメンバーとして「木製小屋づくり」を出展。子ども達は協力しながら木材を使った小屋を完成させ、最後は自分で書いた表札をつけ記念撮影。子ども達の真剣な表情とやり遂げた笑顔が輝く1日となりました。



主催：福岡県建設産業魅力発信実行委員会



100万人以上の受講実績

建設業振興基金の 監理技術者講習

選べる2つの受講方法



オンライン講習
オンデマンド方式

自宅や勤務先で受講ができる!



会場講習
(映像講習)

全国各地で開催!豊富な会場・開催数

お問い合わせ窓口 受付時間(平日) 9:00-12:00/13:00-17:00

一般財団法人 建設業振興基金
監理技術者講習受付センター

振興基金監理講習
TEL 0570-081-812
※お掛け間違いのないようご注意ください。

福岡支部：上村建設株式会社「建設業未来展望フォーラム」開催報告

上村建設株式会社が福岡県内の建設業に携わる企業67社と共同して、6月16日(火)福岡国際センターにて、学生のための建設業に特化した職業体験イベント「建設業未来展望フォーラム Craftsmanship2026」を開催。昨年より会場も大きく、技術体験ブースも増え、福岡県内の工業高校、短期大学、専門学校等計17校の生徒や学生約850名が参加。様々な技術を体験し、建設業に従事する方々と直接交流を行いました。このイベントは、工業系の学生達が

建設業に従事するプロフェッショナルと直接交流を行い、建設業の仕事内容、現場の技術などを知り、将来の進路選択の参考にしてもらうことを目的としています。

会場では、クロス施工やガラス施工、建設DX&BIM、ドローン操縦、電気工事、足場組立など24種類のブース体験や建設業の様々な分野で活躍する方々のトークセッションなど「建設業の今」を知るコンテンツの他、屋外では大型重機も展示されました。



ドローン操縦体験



解体重機を操作



足場昇降体験



左官体験



電気工事電流ライラ棒



タイル施工



大型重機も設置

●DATA／上村建設株式会社 代表取締役社長 上村英輔 福岡市博多区住吉4-3-2 博多イトビル7階 ☎092-475-6551

建設現場の
人材確保を
もっと確かに。

建設現場労働者のための退職金制度

建退共
KENTAI KYO

民間工事が
メインでも
加入できます

建設業退職金共済制度は
建設業界のために、
国がつくった退職金制度です。

① 掛金は損金扱い! 新規加入で一部免除
 ② 電子ポイント方式なら手続きもカンタン!
 ③ 掛金は1日320円!

詳しい情報はこちら
[建退共](https://www.kentai-kyo.co.jp/jp)

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部
 〒170-8055 東京都品川区東品川1-24-1 TEL 03-6731-2866

経営状況分析の中身が分かる!

ご申請特典 無料

CIIC経営状況分析 Y点解説レポート 始めました!

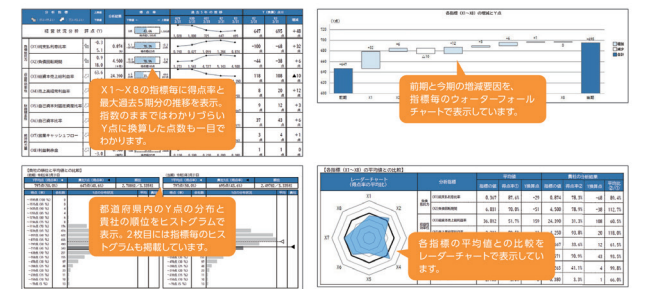
当財団に経営状況分析をご申請いただいた皆様に、貴社の経営状況のY点(Y)を分析指標毎に解析し、増減や順位をチャートで分かりやすくまとめたレポート(Yレポート)を提供しております。Y点アップや経営目標の参考資料として、是非ご活用ください。

Yレポートの入手方法

CIIC電子申請(マイページ)をご利用中の方は、マイページから取得できます。マイページIDをお持ちでない方は、当財団所定の申込書にてお申込みください。※代理人様を受け取る場合は、経営状況分析申請時に結果通知書を受領されている必要があります。

Yレポートのおすすめポイント

- Y点の増減要因が、X1〜X8の指標毎によくわかる!
- 指標毎に、得点率や推移、Y(換算)点の増減がよくわかる!
- 指標毎に貴社の順位と都道府県の平均値との差がよくわかる!



これらのチャートの他、3期分の財務諸表(比較財務諸表)を掲載、増減要因を数値レベルで分析できます。

さらにマイページでは、市区町村別、業種別、売上規模別での比較や、来期のシミュレーションを行うことができます!マイページIDをお持ちでない方は、この機会に是非マイページのご利用をご検討ください。マイページIDの申込方法等、詳細はホームページの「CIIC電子申請(マイページ)のご案内」をご覧ください。

経営状況分析は「信頼と実績」の登録経営状況分析機関 登録番号 1 詳しい情報は <http://www.ciic.or.jp/> または CIIC Y点解説レポート 検索

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号 福岡建設会館6階
【お問い合わせ】 TEL 092-483-2841 FAX 092-483-2846

建設業を守る 法定外労災補償制度 建設共済保険



正確な掛金試算や資料請求はこちらまで

公益財団法人 建設業福祉共済団 (取扱機関) (一社)福岡県建設業協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8(虎ノ門平等タワー11階) 〒812-0013 福岡県博多区博多駅東3-14-18
☎0120-913-931 FAX 03-3591-8474 TEL 092-477-6731 FAX 092-477-6740

HITO MACHI FUKUOKA
School
watch福岡県立田川科学技術高等学校
工業システム科 建築・土木コース地域との関わりが生む
人づくり、モノづくり、プロづくり

田川市にある福岡県立田川科学技術高等学校は、平成17年の県立高等学校再編整備で田川地区内の田川農林高等学校、田川工業高等学校、田川商業高等学校が再編・統合された学校です。3校の歴史と伝統を受け継いだ総合型産業高校として、農業食品科、工業システム科、ビジネス科学科を備え、農業・工業・商業の3つの専門分野を学んでいます。それぞれの分野において、専門的な知識と技術の習得はもちろん、実習や課題研究、資格取得などを通して、社会に直結する実践力を育成。生徒一人一人の夢の実現を支え、地域に貢献できる人材を



木製プランターの完成見本。



横切り丸のこ盤で木材を一定の長さに加工。

育てる学校として、さらなる発展を目指しています。

今回は、建設の基礎を学ぶ工業システム科の建築・土木コースを取材。当日は、2年生が4つのグループに分かれ、コンクリートのスランプ試験、木工、製図、測量の実習を行っていました。木工実習では、いろいろな機械を使いプランターを製作中。毎年、「TAGAWAコールマイン・フェスティバル〜炭坑節まつり〜」で商品として販売されています。

地域との連携を大切にしながら、地元産業や企業と関わる中で、生徒たちは学びの意義を実感しながら成長しています。



コンクリートを練り、円錐形の器具へ流し込む。



円錐形の器具を外し柔らかさを確認。



先生がコンクリートの流動性を判定中。



雨のため、室内で測量実習中。



CADを使用し製図中。



先生の説明に熱心に耳を傾ける。

オリジナルキャラクター
科技高カーギー

My Dream 建設業界で活躍したいと思った理由・将来の夢とは

私の将来の夢は大工になることです。私の父が電気工事の仕事をしており、小さい頃は父の仕事に憧れていました。父の仕事について知っていくうちに、一緒に仕事をしている大工の仕事に興味を持つようになりました。何もない敷地に大きな部材運び込んで、それを組み立てて見慣れた家の形にしていって技術を自分も身に付けて、いつか自分が家を建てて父がその家に電気工事をするような、違う仕事ですが一緒に働けるようになります。今年の冬に大工技能検定があるのでそれを目指して頑張りたいと思います。



2年生 木下 遼永さん

私は、高校を卒業したら就職をするつもりで就職に強いと聞く田川科学技術高校を受験しました。高校では2年生から建築と土木のコースに分かれて勉強をしていくので、建築の勉強を始めたばかりですが、建築の専門科目で習った内容を思い出しながら生活していると、何気なく見ていた自分が住んでいる家や遊びに行く施設なども意匠や構造など細部を見ることも楽しくなりました。建築の分野も幅広く奥深いので、今では進学をしてもっと建築の分野を深く学んでいきたいと思っています。そのために、高校で基礎をしっかりと学んでいきたいです。



2年生 窪田 洋哉さん

私が建設業界に興味を持ったのは、地域で大雨が降った際の護岸工事や災害復旧でした。普段、何気なく暮らしている自分の町でもニュースで見るとような災害が起きることを体験し、その時に災害復旧に当たっている様子や、雨が落ち着いた後に川の氾濫を防ぐために護岸工事を行っているのを見て、建設業界は有事の際や未然に防ぐためにも大切な仕事だと感じました。私は将来、みんなが安心して暮らせるような町を作るために技術系の公務員を目指して日々、学校での授業に取り組んでいます。まずは、来年度受験する2級土木施工管理技士の学科を合格できるように頑張ります。



2年生 六田 朝陽さん

私は田川科学技術高校の土木コースで土木の勉強をしています。父の仕事が建設業で、メインは土木工事ですが、建築の仕事も行っているため、将来はその手伝いをできるように2つの分野の勉強をしたいと思います。施工管理の資格についても土木も建築も必要なのですが、クラスの中でコースに分かれているので、3年生の前期で2級土木施工管理技士を受験し、学科に合格ができれば後期で建築の勉強をしている友達に教えてもらいながら2級建築施工管理技士の学科にも合格できるように目指しています。



2年生 高林 大一號さん

DATA 福岡県立田川科学技術高等学校 〒825-0005 福岡県田川市糺1900番地 TEL.0947-44-1041



一般社団法人 福岡県建設業協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18

TEL.092-477-6731 <https://www.fukukenkyo.org>

(一社)福岡県建設業協会は、福岡県の建設業のための公益を目的とした団体です。

会員情報にはよります

